

平成 15 年度 海外実地調査等報告書

－ シドニー大学，メルボルン大学，RMIT 大学， オークランド大学を訪問して －

学術情報基盤センター 教授 田村直之
学術情報基盤センター 講師 番原睦則

1 本調査を通じて取り組んだ課題等

先端的な大学における情報基盤の調査

2 調査概要

オセアニア地方の先端的な 4 つの大学，シドニー大学，メルボルン大学，RMIT 大学，オークランド大学を訪問し，各大学の情報基盤に関する調査を行った．具体的には，各大学の情報基盤を提供している組織を訪問し，その組織の概要，設備，研究・教育サポート体制等について調査を行った．

3 実地調査内容

実地調査等期間	平成 16 年 2 月 28 日 (土) ~ 平成 16 年 3 月 6 日 (土) (日程表については次節を参照)	
実地調査等派遣先	都市名 (国名) 機関名	シドニー (オーストラリア) シドニー大学
	都市名 (国名) 機関名	メルボルン (オーストラリア) メルボルン大学，RMIT 大学
	都市名 (国名) 機関名	オークランド (ニュージーランド) オークランド大学
実地調査等派遣者 (団長)	職名 氏名	学術情報基盤センター・教授 田村 直之

4 日程

月日	時間	訪問先	
3月1日	10:00–11:30	シドニー大学	Mr. Nick Kovari (IT Manager, Faculty IT, Faculty of Economics and Business), Mr. Russell Cook (Deputy Director, Communication Systems Manager, Information Technology Services)
3月2日	10:20–11:45	メルボルン大学	Dr. Angela Bridgland (Acting Vice Principal (Information), Director, Teaching Learning and Research Support, Information Division)
3月2日	11:50–14:00	メルボルン大学	Mr. Eddie Choong (Executive (International Programs), Faculty of Economics and Commerce), Dr. Michael J. Davern (Associate Professor, Director, Master of Business and IT)
3月3日	10:00–16:00	RMIT 大学	Dr. James Harland (Associate Professor, Computational Logic School of Computer Science and Information Technology), Dr. Michael Winikoff (Assistant Lecturer, Computational Logic School of Computer Science and Information Technology),
3月5日	13:30–14:45	オークランド大学	Mr. Stephen Whiteside (Director, Information Technology Systems and Services)
3月5日	14:50–15:30	オークランド大学	Dr. Nevil Brownlee (Director, Technology Development, Information Technology Systems and Services), Mr. Rob Burrowes , (Computing Services Manager, Department of Computer Science)

5 規模の比較

	シドニー大学	メルボルン大学	オークランド大学	神戸大学
全学生数	46000	35000	32000	16,000
全教職員数	6000	4500	?	2,600
学部数	19	11	7	11
情報基盤センター職員数	155	420	130	11

6 実地調査詳細

● 3月1日 (10:00–11:30) シドニー大学

Mr. Nick Kovari (IT Manager, Faculty IT, Faculty of Economics and Business) と Mr. Russell Cook (Deputy Director, Communication Systems Manager, Information Technology Services) を訪問し、シドニー大学情報基盤センター (ITS) の概要、役割、活動に関して調査を行った。

- ITS は 155 名の職員で構成されており、そのうちの約 40 名が IT 技術スタッフである。
- ITS は情報基盤に関する標準化を行っている。つまり、すべてのサービスをセンターに集中させるということではなく、センターが標準的なサービスを提供するという方向である。
- 全学生のためのポータル・サイトを開発・運用しており、5~6 人の技術スタッフでメンテナンスを行っている (ただしコンテンツは各学部)。
- 全学的なセキュリティ・ポリシーはまだ策定されておらず、現在のところ各学部によって異なる。
- WebCT と呼ばれる e-learning システムを導入している。

● 3月2日 (10:20–11:45) メルボルン大学

Dr. Angela Bridgland (Acting Vice Principal (Information), Director, Teaching Learning and Research Support, Information Division) を訪問し、メルボルン大学情報基盤センター (Information Division) の概要、役割、活動に関して調査を行った。

- 情報基盤センターに図書館担当者が 240 名おり、その 3 分の 1 が IT 技術スタッフである。
- 全学的なセキュリティ・ポリシーを策定中であり、現在ドラフトが完成している。
- 各学部にはメールサーバはなく、メールサーバはセンターで集中管理。
- webraft を呼ばれる e-learning システムを独自に開発し運用している。
- 基本的にアウトソーシングはせず、必要なソフトウェアは自前で作成する方針である。

● 3月2日 (11:50–14:00) メルボルン大学

Mr. Eddie Choong (Executive (International Programs), Faculty of Economics and Commerce), Dr. Michael J. Davern (Associate Professor, Director, Master of Business and IT) を訪問し、経営学部で昨年スタートした business and IT 修士コースに関する調査を行った。

- 3月3日 (10:00–16:00) RMIT 大学
Dr. James Harland (Associate Professor, Computational Logic School of Computer Science and Information Technology), Dr. Michael Winikoff (Assistant Lecturer, Computational Logic School of Computer Science and Information Technology) を訪問し、コンピュータ科学科と情報基盤センターとの関係について意見交換を行った。
- 3月5日 (13:30–14:45) オークランド大学
Mr. Stephen Whiteside (Director, Information Technology Systems and Services) を訪問し、オークランド大学情報基盤センター (ITSS) の概要、役割、活動に関して調査を行った。
 - IT セキュリティ・ポリシーはすでにある。
 - e-learning システムは経営学部が開発したソフトウェアを、全学的に利用している。
 - 情報基盤センターの役割としては、標準化が最も大事。
 - コンピュータ科学科と連係して、大学用ソフトウェアを開発している。
 - 大学全体で 11000 台の PC を保有している。
- 3月5日 (14:50–15:30) オークランド大学
Dr. Nevil Brownlee (Director, Technology Development, Information Technology Systems and Services), Mr. Rob Burrowes (Computing Services Manager, Department of Computer Science) を訪問し、情報工学科と情報基盤センターとの関係について意見交換を行った。

7 まとめ

- 情報基盤センターの範囲: 出版、電話、WWW、事務系 IT システム、
- 標準化と集中化: e-Learning システム、無線 LAN 等、大学内で共通に利用するシステムについては、センターが中心となって標準化を行っている。
すべてのサービスをセンターに集中させるということではなく、センターが標準的なサービスを提供するという方向である。
- 予算無線 LAN スポット設置等について学部半額負担を求めたり、パケット量課金を行ったりしている部分はあるが、大学全体から情報基盤の予算の大半を確保している。
- アウトソーシング: いずれの大学も基本的にはアウトソーシングを行わない方針である。特に、メルボルン大学、オークランド大学では、e-Learning システム等のソフトウェア開発も大学内で行っている。